

## 生産出荷近代化計画の概要

- [野菜指定産地名] 加美
- [指定野菜の種別] 秋冬はくさい
- [指定区域] 色麻町, 加美町
- [指定年月日] 昭和63年8月25日
- [計画樹立年月日] 平成3年1月31日
- [計画変更年月日] 令和3年3月31日

### [変更後の計画概要]

#### ○生産及び出荷の近代化に関する基本構想

地域全体の8割を占める地元の加工業者への供給により、流通コストの軽減及び安定した収入を確保できるため、農家当たりの作付け規模が拡大するとともに、産地全体としての生産量も着実に伸びている。また品質面においても、生産者相互の技術研鑽により、生産・出荷各段階での技術改良が着実な成果をあげ、実需者評価の高い商品の安定供給を実現している。今後とも、より安定した生産体制を確立し、面積拡大を推進するため、生産条件整備に取り組むとともに新技術の積極的な導入を図り、生産基盤の整備を進める。

生産性向上の具体的な方策として、作業効率のアップとコスト低減のための省力化機械の一層の普及を目指すとともに、その効率的な共同利用体系を確立する。また、畜産経営から生じる家畜排せつ物を地域資源として有効活用する資源循環型農業を推進するため、平成21年7月、区域内に加美町土づくりセンターが設置され、翌8月から本格稼働している。これにより良質な堆きゅう肥の施用による土づくりをより一層推進するとともに、合理的、計画的な作付け体系を確立する。そして、出荷期間の拡大を図るべく、平成22年に米の低温倉庫を改装。長期保管に向け平成26年産は108トンの計画に向け取り組みを実施。

一方、兼業化の進展に伴う担い手不足や生産者の高齢化等による労働力の低下に対応するため、シルバー人材等地域内の労働力を有効に活用するための調整方策等についても検討していく。

#### ○生産出荷近代化の現状と目標

項目	現状 (H29)	目標 (R4)
作付面積 (ha)	25	20
生産量 (t)	706	611
出荷量 (t)	706	611
共販等量 (t)	706	611
共販等率 (%)	100	100
収量 (kg/10a)	2,780	3,020